

■発行／江別工業団地協同組合 江別市工業町15の1 電話384-3262 ■発行責任者／理事長 杉野邦彦 ■印刷／笹岡印刷株式会社

\*広報「ついしかり」の名称は、江別の発祥の地「対雁」(現在の工業団地周辺)の地名からとったものです。



収穫を終えた小麦畑

## 目次

- |                     |       |                 |    |
|---------------------|-------|-----------------|----|
| ○ 表紙 収穫を終えた小麦畑      | 1     | ○ 第2回親睦ゴルフ大会    | 12 |
| ○ 第13回工業団地産直朝市      | 2~3   | ○ 普通救命講習Ⅰ開催     | 12 |
| ○ 企業紹介 (株)イチムラ      | 4~5   | ○ わが郷土の歴史 その57  | 13 |
| ○ 交通安全運動 旗の波街頭啓発    | 6     | ○ 【予告】親睦ボウリング大会 | 14 |
| ○ 第24回親睦パークゴルフ大会    | 7     | ○ 【予告】献血活動      | 14 |
| ○ 全国産業安全衛生大会in大阪・近畿 | 8~9   | ○ 組合予定行事        | 14 |
| ○ 山登り同好会レポート        | 10~11 |                 |    |



# 産直朝市 開催

9月7日(日)、第13回工業団地産直朝市が  
9:00~12:00までの3時間限定で  
開催されました。



今回の産直朝市では昨年の大工業祭で出店いただいた企業の他、昭和窯業(株)様のレンガ、(株)北海道スクリーン製作所様の焚火台、(株)サンドリア様のサンドイッチと初めて出店していただいた企業もあり、杉野理事長が、いつも話している「お豆腐からレンガまで」をまさに体現する産直朝市となりました。



また、今回の産直朝市では江別工業団地協同組合、そして産直朝市を知らない方にも周知するためFMノースウェーブでCMの他、杉野理事長、龍田副理事長、安孫子実行委員長に番組のコーナーでお話いただきました。

当日のMCは、DJ・タレントとしておなじみであり「江別市まちづくりアドバイザー」でもあるヒロ福地さんに努めていただきました。



ラジオの効果や「今年も来たよ！」と昨年の大工業祭にもお越しいただいた方が、朝からの大雨の中傘をさしながら道路まで溢れてしまうくらいの列を作ってお待ちいただきました。ヒロ福地さんが「もう少しで始まりますのでお待ちください～」と待っている方々を和ませていただき多雨でしたが混乱もなく開始することができました。



開会式では理事長挨拶の後、安孫子実行委員長、江別市市長 後藤好人様、前衆議院議員 和田よしあき様よりご挨拶をいただきました。

7時頃から列の一番前に並んでいただいた方に団地内製品の詰合せセットをお渡しし、ヒロ福地さんの「オープンです！」の掛け声でお客様は会場の中のお目当ての店舗へとお進みいただきました。





開始から1時間が経過し、天候もようやく回復し晴れてきましたが、早くも売り切れ！の店舗が…「こんなにお客さんが来るとは…」と出店企業様も驚いていました。



MCヒロ福地さんに各出店企業のご紹介をいただき、会場ではまだまだ長蛇の列ができており「この列はどこの列？」と聞かれるくらいでした。特に(株)菊水様ではトラックから商品を搬入してもすぐ売れてしまう状況で、たくさん商品をご用意していただきましたが、それでも売り切れてしまう状況が出ていました。



会場入り口ではこども広場がありお子様連れの方には、輪投げやスーパーボールすくいをお楽しみいただき、会場奥では札幌機工整備(株)様の軽キャンピングカーの展示、会館内にも休憩所をご用意しておりましたので、ご来場の皆様にはお買い物だけでなく3時間びっしりとお楽しみいただけたのではないのでしょうか。



終了してみると、開催時大雨の天候であったにもかかわらずの江別市・江別市近郊より2,000人以上の方が来て下さり産直朝市としては過去最大の来客数となりました。雨の中たくさんのご来場ありがとうございました。

また今年の参加企業は組合員企業12社、協賛企業7社、合計19社が出店してくださいました。

事前会議4回、会場準備、後片付けとお忙しい中ご協力いただき感謝いたします。



### 出店企業 (12企業)

組合員企業

- ・浅香工業(株)
- ・(株)イチムラ
- ・江別製粉(株)
- ・オシキリ食品(株)
- ・(株)菊水
- ・江和自工(株)
- ・札幌機工整備(株)
- ・昭和窯業(株)
- ・匠プレス工業(株)
- ・(株)北海道スクリーン製作所
- ・(株)マルナカ
- ・(株)ミツハシ

### 協賛企業 (7企業)

- ・ル・カルム
- ・(有)ノースライブコーヒー
- ・ほっぺぱん
- ・(株)プライムネット
- ・(株)ランベル
- ・(株)サンドリア
- ・sanami handmade (サナミ.ハンドメイド)

2025

06/18 WED ~ 06/20 FRI

「インテリアライフスタイル2025」に出展!



## ICHIMURA Report

イチムラは今年で創業72年を迎えました。これまで、学校の机や椅子、公共施設向けの家具など多くの現場で安心してお使いいただける製品をひとつひとつ丁寧に作り続けてまいりました。近年は開発部門を中心に、新しい価値を創造するための挑戦にも力を入れております。その一環として、今年6月に東京ビックサイトで開催された「インテリアライフスタイル2025」に出展し、初めて新商品「edge」を発表いたしました。

「edge」は「壁以上、家具未満。」をコンセプト

とした壁面収納家具です。壁のように空間に馴染みながら、家具のように暮らしにひと工夫を加え、日々を心地よくするユニークなアイテムです。多くの来場者から「発想が面白い」「実際に使ってみよう」といった反響をいただき、ブースは連日多くのお客様で賑わいました。

今回の出展で得られた学びや課題を今後の開発に活かし、創業72年の歴史を大切にしながら、これからも暮らしを豊かにする製品づくりに挑戦を続けてまいります。





インテリアライフスタイルは、これからのライフスタイルマーケットを提案するインテリア・デザインのための国際見本市です。

## エッジ 新商品「edge」とは

お客様のライフスタイルやオフィス空間、商品ディスプレイなど多種多様に合わせてバリエーション展開が豊富な壁面収納家具です。



詳しくは、  
弊社ホームページまで！



里深統括

江別警察署 大越様

高間会長

渡辺委員

## 旗の波街頭啓発

7月15日（火）夏の交通安全運動に合わせ「旗の波街頭啓発」を実施しました。

参加者は36企業78名。所管委員会である安全衛生委員会 里深統括より挨拶の後、札幌方面江別警察署地域交通官 警視 大越様、江別地区交通安全協会会長 高間様よりご挨拶をいただき、次に、安全衛生委員会 蟹谷委員より交通安全宣言、安全衛生委員会渡辺委員による飲酒運転根絶宣言を行った後、参加者全員で交通安全旗を手に、5丁目通りを道行くドライバーへ「スピードダウンとシートベルト着用」の啓発活動を行いました。



8月31日には工業町の道道長沼線上で大型バイクが対向車線を走行中にバイクの前方にて右折中の普通乗用車に衝突し53歳の男性が亡くなる死亡事故が発生しました。

無理な追越し、スピードの出し過ぎも事故の元です。天候状況にあわせたスピードで運転しましょう。

また、飲酒運転についても事故がやまない状況です。皆さん飲んだら運転はしないように注意しましょう。



## 飲酒運転

△しない・させない・ゆるさない△



### 夏の交通安全参加企業（36企業78名）

- ・(株)イチムラ
- ・エア・ウォーター物流(株)
- ・江別製粉(株)
- ・江別ビル管理(株)
- ・江別リサイクル事業協同組合
- ・オシキリ食品(株)
- ・グローブ・テクノ工業(有)
- ・江和自工(株)
- ・(株)菊水
- ・札幌機工整備(株)
- ・(株)札幌第一金属
- ・(株)JSP
- ・(株)システック
- ・昭和産業(株)
- ・匠プレス工業(株)
- ・(株)ダンロップリトレッドサービス
- ・電制コムテック(株)
- ・道央衛生(株)
- ・TOTO(株)
- ・(株)ニッコン北物
- ・日本甜菜製糖(株)
- ・日本ハム惣菜(株)
- ・八光砂利(株)
- ・パラマウント硝子工業(株)
- ・(株)樋口
- ・(株)ホクエイ
- ・北海道王子製袋(株)
- ・(株)北海道スクリーン製作所
- ・北海道中央食糧(株)
- ・北海道トナミ運輸(株)
- ・(株)北海道酪農公社
- ・(株)丸正久保総業
- ・(株)マルナカ
- ・(株)ミツハシ
- ・丸三興業(株)
- ・安田建設(株)

# 第24回 親睦パークゴルフ大会 開催



第24回親睦パークゴルフ大会は、令和7年7月19日(土)今回は開催場所を変更し、札幌パークゴルフ倶楽部 福移の杜コースで開催されました。競技参加者は4チーム16名です。

当日は朝から大雨!大会の開催も危ぶまれるほどでしたが、会場に着いた頃には小雨となりパークゴルフ経験の長い清水サッシ(株)石垣さんの「これぐらいの雨ならできる」の一言で開催が決定!

開会式では、実行委員会吉田委員長の挨拶と岩口委員の大会ルール説明のあと、選手代表 清水サッシ(株) 石垣幸雄さんから力強い選手宣誓をいただきました。

競技が始まると午前中は雨が降り続く予報だったにも関わらず雨が不思議とやみ、コースのところどころに水たまりがありましたが、無事に回ることができました。

ハーフを終えると「暑い!」と雨用のウィンドブレーカーを脱ぎ、皆さん半袖でプレイされていました。



競技後の焼肉交流会、表彰式は会場が変わった今回もジギスカンでの開催です。

個人優勝は、日成ビルド工業(株)・岩口毅さん 初優勝です!続いて準優勝は、丸彦渡辺建設(株)・長尾光宣さん、3位は(株)システック・金子馨さんです。おめでとうございます。

団体優勝は個人優勝された日成ビルド工業(株)・岩口毅さんと個人準優勝 丸彦渡辺建設(株)・長尾光宣さん、江別工業団地(協)・村田京華さん、丸彦渡辺建設(株)・鈴木道廣さんの組でした。準優勝と16点離れる大差での優勝です、おめでとうございます。

団体準優勝は、八光砂利(株)・松井政洋さん、匠プレス工業(株)・加藤光猛さん、北海道中央食糧(株)・狭田真二さん、(株)システック・上原忠彦さん。



団体3位は清水サッシ(株)・石垣幸雄さん、(株)北冷製作所・吉田喬一さん、北海道中央食糧(株)・宮川博通さん、(株)システック・能登博昭さんです。

また札幌機工整備(株)様からの協賛賞(サッポロビール1箱)をグロス1位(111)、清水サッシ(株) 石垣幸雄さんにお渡ししました。グロス順では2位に13点もの差をつけるさすが石垣さんの結果でした。

札幌機工整備(株)様 ご協賛ありがとうございました。

さらに今回はなんと北海道中央食糧(株) 宮川博通さんがずらんCコース ホールNo6でホールインワン!を出し、ホールインワン賞をお渡ししました。

ホールインワン賞に表彰式は盛り上がり、吉田委員長の総評で焼肉交流会、表彰式を終えました。

今回は3連休初日や第3土曜日ということもあり参加人数が16名といつもより少ない参加となりました。次回開催は来年6月第2土曜日です。またご案内いたしますので是非多くの方のご参加をお待ちしております。



9月10日(水)～12日(金)の3日間、大阪府大阪市で第84回全国産業安全衛生大会in大阪・近畿が開催され、村上副理事長、安全衛生委員会菅原委員、事務局村田の3人で参加してきました。

例年は、10月～11月に開催されることが多いこの大会ですが、今回は、大阪万博開催期間中での開催となりました。もちろん、会場も大阪万博会場のすぐそばです。

会場となったインテックス大阪には、全国より10,500名の方々が集まり、3日間、総合集会・分科会に耳を傾けます。



大会テーマは「共に築こう 安全・健康 一人ひとりが輝く未来」です。

総合集会では、国歌斉唱から始まり祝辞、表彰式、大会宣言が行われ、休憩をはさみ、講演、中間体操、特別講演と進みます。特別講演では、大阪大学基礎工学研究課 教授/ATR黒浩特別研究所 客員所長 石黒 浩氏により「多様な生き方を実現するアバターと未来社会」と題し、アバター（操作者の意図に従って働くロボットやCGエージェント）は私たちの暮らしや社会を自由にし、多様な生き方・幸せな社会を実現する、というお話を聞きました。

「誰もが自分の分身が欲しいと思いませんか？」の問いかけには、「うん、うん！あったら、仕事、プライベート、色んな事を同時にできるのに！」と、心の中で呟いてしまいました。

この研究は、20数年前から自動運転や産業ロボットから始まり、その後のアニメの普及に伴い、私たちが親しんでいる日常でのサポートロボットへと進んでいきます。更に、コロナ禍によるリモートワーク、Zoomが当たり前の日常になり自由に働く社会の土壌が整ったことにより、本格的にアバター研究が進められているそうです。人口減少は大きな社会問題の一つとなっており、アバターの使用により就労が大きく変化をとげ、国に守られていた時代から、テクノロジーに守られていくような時代が変わっていく、という内容を知り、「そんな時代がやってくるんだ」と聞き入ってしまいました。アバター、ロボット、テクノロジーが人間とコラボレーションし、働き方・生き方が変わる世の中を早く見てみたいものです。

また、別会場で開催されているミドリ十字展では、近年の温暖化による影響なのか「熱中症対策グッズ」が溢れており、工場内での熱中症対策グッズを沢山のブースで聞いてきました。



2日目は、せっかくですので大阪万博に行ってきました。市内・電車・会場全て沢山の人で溢れており、入場時間定刻に会場に着きましたら長蛇の列! 気温は33度、暑い中、並んで入場となりました。

うまいこと抽選に当たり、みんなで日本館パビリオンへ行ってきました。日本館は、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を開催国としてプレゼンテーションする拠点であり、街頭テーマの具現化や、日本の取り組みを発信しています。「いのちと、いのちの、あいだに」をテーマに、万博会場内の生ごみを利用したバイオガス発電や、世界に貢献しうる日本の先端的な技術等を活用し、一つの循環を創出し、接続可能は社会に向けた来場者の行動変容を促す「ごみの再生工場」をゆっくりと見てきました。他パビリオンも長蛇の列でしたが、普段目にする事の少ない、南米やアフリカの各地ブースを中心に見てきました。鮮やかな色彩、緑あふれる大地を感じ、汗だくの中で飲んだビールが最高でした… (笑)

各パビリオン見学の後は、いよいよ大屋根リングに登ります。予定では1周しよう! と、思っていたのですが、どんどん溢れる人々と暑さにより半周で断念、万博見学は終了となりました。大屋根リングから見た人の数とはにかく圧巻でした。



日本館は、ごみの再生工場。  
微生物によって、ごみから生まれた物質やエネルギーは、ふたたび微生物のはたらきによって、燃料や食品、医薬品や服へと生まれ変わり、私たちの暮らしの中で、次の役割を担っていく。

The Japan Pavilion is a recycling factory. Materials and energy derived from wastes are transformed by the work of microorganisms into fuel, food, medicine, and clothing, taking on new roles in our daily lives.



なんばグランド花月	
9月12日(金)	
本公演1回目	
11:00	アヒル
11:05	五ノ子
11:10	阿波舞
11:15	トコ
11:20	花月
11:25	阿波舞
11:30	アヒル
11:35	五ノ子
11:40	阿波舞
11:45	トコ
11:50	花月
11:55	阿波舞
12:00	アヒル
12:05	五ノ子
12:10	阿波舞
12:15	トコ
12:20	花月
12:25	阿波舞
12:30	アヒル
12:35	五ノ子
12:40	阿波舞
12:45	トコ
12:50	花月
12:55	阿波舞
13:00	アヒル
13:05	五ノ子
13:10	阿波舞
13:15	トコ
13:20	花月
13:25	阿波舞
13:30	アヒル
13:35	五ノ子
13:40	阿波舞
13:45	トコ
13:50	花月
13:55	阿波舞
14:00	アヒル
14:05	五ノ子
14:10	阿波舞
14:15	トコ
14:20	花月
14:25	阿波舞
14:30	アヒル
14:35	五ノ子
14:40	阿波舞
14:45	トコ
14:50	花月
14:55	阿波舞
15:00	アヒル
15:05	五ノ子
15:10	阿波舞
15:15	トコ
15:20	花月
15:25	阿波舞
15:30	アヒル
15:35	五ノ子
15:40	阿波舞
15:45	トコ
15:50	花月
15:55	阿波舞
16:00	アヒル
16:05	五ノ子
16:10	阿波舞
16:15	トコ
16:20	花月
16:25	阿波舞
16:30	アヒル
16:35	五ノ子
16:40	阿波舞
16:45	トコ
16:50	花月
16:55	阿波舞
17:00	アヒル
17:05	五ノ子
17:10	阿波舞
17:15	トコ
17:20	花月
17:25	阿波舞
17:30	アヒル
17:35	五ノ子
17:40	阿波舞
17:45	トコ
17:50	花月
17:55	阿波舞
18:00	アヒル
18:05	五ノ子
18:10	阿波舞
18:15	トコ
18:20	花月
18:25	阿波舞
18:30	アヒル
18:35	五ノ子
18:40	阿波舞
18:45	トコ
18:50	花月
18:55	阿波舞
19:00	アヒル
19:05	五ノ子
19:10	阿波舞
19:15	トコ
19:20	花月
19:25	阿波舞
19:30	アヒル
19:35	五ノ子
19:40	阿波舞
19:45	トコ
19:50	花月
19:55	阿波舞
20:00	アヒル
20:05	五ノ子
20:10	阿波舞
20:15	トコ
20:20	花月
20:25	阿波舞
20:30	アヒル
20:35	五ノ子
20:40	阿波舞
20:45	トコ
20:50	花月
20:55	阿波舞
21:00	アヒル
21:05	五ノ子
21:10	阿波舞
21:15	トコ
21:20	花月
21:25	阿波舞
21:30	アヒル
21:35	五ノ子
21:40	阿波舞
21:45	トコ
21:50	花月
21:55	阿波舞
22:00	アヒル
22:05	五ノ子
22:10	阿波舞
22:15	トコ
22:20	花月
22:25	阿波舞
22:30	アヒル
22:35	五ノ子
22:40	阿波舞
22:45	トコ
22:50	花月
22:55	阿波舞
23:00	アヒル
23:05	五ノ子
23:10	阿波舞
23:15	トコ
23:20	花月
23:25	阿波舞
23:30	アヒル
23:35	五ノ子
23:40	阿波舞
23:45	トコ
23:50	花月
23:55	阿波舞
24:00	アヒル



3日目は、飛行機の時間もあり、大阪観光をしてきました。大阪といえば…粉もの文化と吉本です! 村上副理事長と菅原委員は、本場のたこ焼き&なんば花月は初めてとの事。よしもと新喜劇でお笑いし、たこ焼きで大満足していたのは、私だけでしょうか??

大急ぎの3日間でしたが、進化しているテクノロジーと世界の取組、そして、大阪文化に触れた3日間でした。来年の、全国産業安全衛生大会は札幌市での開催です。組合員の皆さんで行きましょう!

[事務局/村田京華]



今年は、あちらこちらでクマの出没情報が…  
計画していた6回を5回に変更し、今年の山登りを終了いたしました。前回お知らせした以降の活動内容を皆さんにお知らせいたします。

記録者／事務局 村田京華



## 第3回 7月13日(日)

### 雨竜沼湿原(ペンケペタン川コース) … 8名参加

第3回山登りは、この時期恒例となっている雨竜沼湿原へ行ってきました。

標高850mの台地に東西4キロメートル、南北2キロメートルにわたって広がる雨竜沼湿原は、日本有数の山岳型高層湿原帯です。

昨年は、霧雨の中、黙々と登り、咲き乱れる高山植物を見る予定でしたが、あまり咲いていず「今年こそは見るぞ!」と、晴天の中登り始めました。

初めはゆっくりと登り始める山道も、ゆらゆらと揺れる第2吊橋を渡りきると今までとは段違いの勾配となり「残りあと少し!」と自分に声をかけ黙々と進み、よう

やく湿原が見えてきました。事前情報では、エゾカンゾウの黄色い花が一面に見えているはずですがちょっと少ない…。木道を進み、湿原テラスで集合写真とランチをしましたが、ここでもちょっとお花が少ない…。変だなあ、と、思っていたら少ない理由がわかりました。どうやらお腹を空かせたエゾシカがお花を食べてしまったようでした。

そんなこともある雨竜沼湿原ですが、花の咲く6月下旬から10月上旬までしか登ることができません。お花情報を気にしつつ、是非、一度登ってみてはいかがでしょうか。



## 第4回 8月9日(土)

### 塩谷丸山(629m) … 11名参加

第4回山登りは、同好会が発足した平成22年10月に登った塩谷丸山です。手軽に登れる山として知られており、登山口の駐車場はいつも満車です。前日までの雨が気になりましたが、当日は晴天、朝早くに集合して登山口へ…。ラッキーな事に登山口駐車場が空いていました。良かった～。

早速支度を済ませ、登ります。あれ??? 確か、登りやすい山だった記憶があるのに、進んでみたら岩あり、階段あり、足元

滑る…の3拍子でした。ひたすら上ること1時間半、ようやく頂上です。8合目くらいまでは下界の景色を見ることができませんが、頂上が近づくくと一気に視界が開け、崖・海・街が一望できます!

頂上は広く、みんなで集合写真を撮り、絶景の景色を見ながらお弁当を食べます。やっぱり山は良いな、と、思う瞬間です。往復6キロの道のりはまあまあの距離ですが、お天気の良い日に是非見て欲しい景色です。





## 第2回 親睦ゴルフ大会開催!

▶2025.9.3 札幌国際CC

令和7年度第2回目の親睦ゴルフ大会が9月3日(水)札幌国際CC島松コースで開催されました。参加者は17名です。この日は朝から晴天!絶好のゴルフ日和となりました。

吉田委員長のルール説明の後、今回初めてご参加いただきました(株)ミツハシ 小林克彦さんにご挨拶いただき大会のスタートです。

ハーフで吉田委員長の組の戻りが遅いなあ…と思っていたら委員長の手にはなんと大きなカブトムシの入った袋が「ボールを探していたらカブトムシが見つかった」とのこと(笑)

その後順調に競技は進み暗くなる前に無事競技を終える

ことができました。

競技後の食事会では吉田委員長の持ち帰ったカブトムシで大盛り上がり!「北海道にカブトムシいるんですね」とゴルフ場の方も驚いていました。

優勝は(株)北海道スクリーン製作所 佐藤賢治さんBコース45・Cコース47:GROSS92:HD CPI6.8:NET75.2で、さらにドラコン賞2か所(B6番、C8番)も受賞です。

準優勝は北海道中央食糧(株) 狭田真二さん、3位は北日本重機(株) 丸山雄司さんです。3位の丸山さんはベスグロ賞も受賞です、おめでとうございます。

その他賞に入った方々は次のとおりです。

ニアピン賞(3か所):B8番、C7番 西川隆広さん、C2番 増本さん

来年も組合員の皆様のご参加お待ちしております。



## 普通救命講習 I ▶2025.9.9 江別工業団地協同組合

「普通救命講習 I」が9月9日(火)、工業会館1階ホールで開催されました。組合員14企業28名が参加し、講義と実技を受講しました。講師は、江別市消防署の応急手当指導員 本間昌人氏、応急手当普及員 2名です。

また今回事務所に常時いる女性の方にもご参加いただけるようご案内をし、8名の女性の方にご参加いただきました。

始めに、講習の重要性や命を守る大切さを学ぶ貴重な映像を視聴し、その後実技演習が行われました。参加者は3つのグループに分かれ、1人ずつ周囲の安全確認から胸骨圧迫-人工呼吸-AED使用までの心肺蘇生法を実践しました。他の受講者の動きや声かけにも注意を払って学ぶ姿が印象的でした。

3時間にわたる講習の終了後、消防署から修了証が交付されました。参加者の皆さま、大変お疲れ様でした。



## 南幌・長沼の水害減少 90年 土木遺産 夕張川新水路

(一般財団法人北海道文化財保護協会理事) 石垣 秀人

江別市街地東方の江別太地区と豊幌地区を分ける夕張川。夕張川は石狩川水系の1級河川で延長136km、流域面積1,417km<sup>2</sup>。下流約11km(江別管内4.8km)は、1936(昭和11)年に完成した新水路で通水から90年が経った。

土木学会が人々の暮らしを支えてきた歴史的な土木構造物を認定する選奨土木遺産に2011(平成23)年に認定された。

夕張川は夕張山系の芦別岳(標高1,727m)を水源に溪谷を刻みながら栗山・由仁の境を流れ、阿野呂(あのろ)川や由仁川などを合わせ、下流はかつて南幌と長沼の境を流れて夕張太で千歳川に合流する支川(現在の旧夕張川)で合流後の下流は江別川と呼ばれ石狩川に注いだ。支川でありながらむかしの夕張川は流域面積も長さも千歳川とほぼ同じ大きな川で、流れは激しく曲がりくねり、満々と水を湛えていた。

夕張川は、栗山付近から急流になり、洪水時の水位は6mにもおよんで、堤防さえ破るため「男の川」と称された。一方千歳川は、合流後の川幅は約60mと狭いうえに水面の勾配はゆるやか。洪水時は、石狩川や夕張川が増水するとたちまち押し込められて後戻りすることから、「女の川」と称され、流域住民は洪水との闘いに困憊していた。

夕張川は水が溢れると一帯は一瞬で泥海の状態になり、水はなかなか引かなかった。

### 治水工事を指揮した保原元二

1898(明治31)年大洪水が発生、同年北海道庁に「北海道治水調査会」が設置され、石狩川の本格的な治水事業が動いた。1910(明治43)年からの第1期拓殖計画で石狩川の支川の調査が始まり、夕張川の調査には道庁から保原元二技師が派遣された。保原は調査と測量を進めつつ結論として、夕張川が南西へと流路を変える地点から西へ11kmの新水路を拓いて石狩川に直接流下させる夕張川新水路計画を立案設計した。

新水路の掘削が主体工事であるが、1920(大正9)年から住民は自費で上流の築堤、切り替え工事など工事の促進運動をつづけた。財政難もあり開削工事が始まったのは1922(大

正11)年からである。工事は泥炭湿地な軟弱地盤のため、人力掘

削と馬による運搬に頼る難工事だったが、1928(昭和3)年に南幌向村と江別町の渋川間の連絡水路が完成した。その後も水路の拡幅のため陸上掘削が引き続き行われた。工事期間中の1932(昭和7)年8月4日から9月14日までの豪雨により夕張川、江別川の大水害が発生、鈴木善治江別町長を会長とする江別、恵庭、広島、千歳、長沼、幌向の1町5村からなる治水促進期成同盟会の必死の運動が世論を喚起し、かつ政府に迫るものであった。結果、新水路を一日も早く施工する必要性が認められ、予算も繰上増額され床固土をはじめ付帯する鉄道橋、道路橋の工事が急速に進められた。1934(昭和9)年からは豊平川から浚渫船・昭和丸が転用されて下流の掘削工事も一層進んだ。新水路はそれまでの長さから3分の1に短縮されたため急勾配になり、新水路の川底や川岸を掘る恐れがあったため(洗掘)、維持や上流の工作物の保護を目的に清幌橋下流に落差4mの床止を設けた。1936年8月17日、関係者の歓呼するなかで夕張川新水路の通水が行われた。通水した1年後、石狩川合流点から2.2km上流地点にナイヤガラのような現象が現れ、1日5~7mの速度で上流に移動した。上流の床止工が下流に設置された。滝が落ちていたのは1948(昭和23)年という。その後もたびたび洗掘被害を受け、復旧工事が繰り返され、とくに昭和45年に川床が大きな被害を受けたことから翌年から2年かけて全面改築された。

新水路が出来てから水害は減少し、1972(昭和47)年には電力と農業用の大夕張ダムが竣工、農地に豊かな水が送られ、流域は有数の穀倉地帯へと発展を遂げた。

南幌町三重湖は夕張川新水路の造成事業で、その堤防を築くために土を採取した土取場で、その跡に水が溜まってできた人造湖である。三重緑地公園には、この治水事業を指揮した元石狩川治水事務所所長の保原元二の胸像と彰徳碑、治水感謝の碑が建っている。また夕張川河川敷左岸、南幌リバーサイドゴルフ場コース脇には「新夕張川切り替え地点跡」の標柱と案内板が立っている。新水路の切り換え後、江別川は千歳川となった。

[参考：札幌開発建設部ホームページ「石狩川治水100年」、豊幌開基百年記念誌「豊幌」(平成元年)、えべつ昭和史(平成7年)、南幌町郷土文化資料室夕張川展示パネル]



南幌リバーサイドゴルフ場  
コース脇の標柱



## 工業団地協同組合で近日開催予定のイベント予告

11/15

### 親睦ボウリング大会



第22回親睦ボウリング大会&焼肉交流会が、令和7年11月15日(土)午前10時より、「サッポロオリンピックボウル」で開催いたします。

(なお、参加申し込みは10月30日(金)をもって締め切らせていただきました。次回もたくさんの皆さんのご参加をお待ちしております。)

◀ 写真は昨年の様子です。

11/18

### 献血活動



今月10日の組合員だよりで、献血活動のご案内をさせていただきましたが、今年も11月18日(火)8時30分より献血を行います。

昨年同様、工業会館駐車場に日本赤十字社の献血バスを設置し、ボランティアの皆さんには400ml献血のご協力をお願いしております。

当日、来られた方全員に(採血の有無に関係なく)粗品をご用意しておりますので、沢山のご参加をお待ちしております。ご協力よろしくお願いたします。

写真は昨年の様子です。▶



#### 組合予定行事

11月

6日(木) / 広報編集委員会

11日(火) / 福利厚生広報委員会

15日(土) / 親睦ボウリング大会

18日(火) / 献血活動

〃 〃 定例三役会

〃 〃 「こいしかり」第169号発行

12月

4日(木) / 安全衛生委員会

16日(火) / 共同受電事業委員会

17日(水) / 定例三役会

23日(火) / 総務委員会

25日(木) / 販売購買委員会

26日(金) / 仕事納め

